

1.5円滑な走行を実現するための施策

(1) 交通事故対策

交通事故が多く発生する箇所の事故対策を実施する。

- ・交差点の改良(交差部の視認性改良)、新たな交差点形状の検討、信号機設置等、交通事故の防止に対する啓発活動

(2) TDM (交通需要マネジメント) による渋滞緩和施策

① 時差出勤の継続

秋田県において平成18年7月から開始された時差出勤を継続して行う。(秋田県では勤務時間を1時間ずらしている)

② 協議会等によるその他 TDM 施策展開方針の検討

今後、秋田都市圏において渋滞緩和や都市環境改善を目的とした TDM の推進に向けて、各関係機関が参加した協議会等において具体的な展開を図る。

○ 検討していく施策イメージ

- ・自動車からバス等の公共交通機関への転換
- ・自転車の活用(サイクル&バスライド等)
- ・ノーマイカー運動
- ・時差出勤の拡大

▼今後のスケジュール

年度	実施内容
平成20年度	TDMに関する基礎検討 (ワーキング等による)
平成21年度	TDM協議会等の開催 ・TDM 施策の検討 ・社会実験の実施
平成22年度以降	本格実施 施策の拡充 施策検討の継続

▼他都市における TDM 施策による渋滞緩和策とその効果

種類	内容	効果
ノーマイカーデー ＜福島市＞	平成11年7月から毎月1日(土・日の場合は翌月曜日)に日頃クルマで通勤している方に電車・バス、自転車、徒歩、クルマを使う場合でも相乗りなどでの通勤に協力していただくノーマイカーデーを開始。平成13年10月から参加事業所、参加者、協賛事業所、事務局それぞれの役割を分担し、自発的にノーマイカーデーに協力していただく方に、優遇サービスの利用が受けられる「ノーマイカーデー登録制度」を実施。 その他に時差出勤や100円バスの運行、サイクルアンドレールライド等の社会実験を実施している。	ノーマイカーデーの実施により通常日に比べCO ₂ が18%削減した。(平成11年の推計値。参加規模2,300人)
時間の変更 (時差通勤) ＜広島市＞	平成7年より国の交通対策本部申合せを受け、官公庁職員のほか、民間企業も含めた時差通勤が浸透しつつある。	ピーク時の交通量がやや平準化し、最大渋滞長についても平成6年の5.8kmから平成9年には3kmに減少。
経路の変更 ＜浜松市＞	平成9年に車を利用する通勤者に通勤ルートを変更してもらい、渋滞緩和状況を把握する通勤経路変更実験を行った。 その結果、右記のような渋滞緩和効果があり、本格実施に向けた検討が進められている。	・渋滞時間帯が……90分→40分 ・最大渋滞長が……810m→730m ・走行時間が……15分→8分 ・バス運行時間が……14分→5分
共同集配 ＜福岡市＞	福岡市天神地区では、平成6年から35社の事業者からなる「天神地区共同輸送株式会社」により共同集配が行われている。 地区内に49箇所(平成13年時点)の専用駐車スペースを設け、専用車両により荷さばきが行われている。	・トラック台数……65%減 ・エリア内走行距離……87%減 ・総駐車時間……17%減
交通情報の提供 ＜広島市＞	公共交通機関の利用促進のために、路面電車やバス等の運行状況等の情報を提供している。 ・移動体インテリジェントロケーションシステム ・iモビリティセンター	—
手段の変更(パーク &バスライド) ＜金沢市＞	金沢市では、郊外の商業施設等の駐車場でマイカーからバスに乗り換えて都心に通勤する「K.Park」と呼ばれるシステムを平成8年度から実施している。 また、ゴールデンウィークには高速道路インターチェンジ周辺に臨時駐車場を設け、兼六園までのシャトルバスを運行することで市内の交通渋滞の緩和を図っている。	平成5年の試行実験では、5分から10分程度の所要時間短縮効果があった。
バスの利用促進と バスレーンの工夫 ＜札幌市、長岡市＞	交通渋滞の緩和とともに、環境負荷の軽減や交通弱者の利便性を向上させるため、各地でさまざまなバス利用促進策が実行されている。 ●札幌市 昭和50年よりバスレーンが設置されているが、平成5年に一部レーンをカラー舗装した。また、北海道警察は、一部の路線に公共車両優先システム(PTPS)と車両運行管理システム(MOCS)を導入した。 ●長岡市 バス利用の促進と商店街の活性化をめざして、平成7年12月の試行を経て、平成8年4月よりお買い物バス券を導入した。このシステムは、市内の商店で2,000円以上の買物をした利用者が、バスの中で取ることができる引換券と引き替えに、その商店からバスの回数券(150円)を受け取れるというもの。	●札幌市 一般車混入率は国道5号で24ポイント、国道12号で8ポイント減少した。 導入の結果、平均所要時間が1分26秒短縮し、また路線バスの乗客が12.7%増加した。 ●長岡市 平成9年度には月平均7,000枚の利用があった。 ・新たなバス需要の喚起(バス以外からバスへの転換、新たな外出)……12.1% ・自動車利用からバスへの転換……3.9% ・新たな買物客の創出(新たな外出、他の商業地からの吸引)……12.0%
自転車利用の促進 ＜藤沢市、名古屋 市＞	藤沢市では、自転車道、自転車歩行者道などの自転車走行空間の整備を図っている。また、自転車駐車場等を整備し、大量公共輸送機関との連携を図ることにより、一層の自転車利用の促進を図っている。	—
大量公共輸送機関 の連結強化 ＜豊橋市＞	大量公共輸送機関等の連結を強化するため、JR豊橋駅前にペDESTリアンデッキを整備するとともに、この下まで路面電車を延伸した。	路面電車、鉄道、バス等と自動車の相互の連結が強化され、利用者の利便性や安全性が向上した。